

花首が短く高品質でわい化剤 が要らない赤輪ギク新品種「首里の加那」

研究成果 (2018~2021年度)

先端技術を結集した園芸品目競争力強化事業



「首里の加那」
品種登録出願第33776号

切り花の特性 (「花秀芳」との比較)

| 作型 (圃場) | 品種名 | 花色 | 到花 日数 | 切り花長 (cm) | 花首長 (cm) | 花径 (cm) | 立枯・生育 不良株率 (%) |
|--------------------------|---------|-----|----------|--------------|-------------|------------|----------------------|
| 1月 (平張) ¹⁾ | 首里の加那 | 濃赤紫 | 56 | 82 | 0.5 | 11.9 | 0.0 |
| | 花秀芳(対照) | 赤紫 | 52 | 96 | 2.2 | 13.2 | 8.3 |
| 4月 (露地) ²⁾ | 首里の加那 | 濃赤紫 | 52 | 110 | 2.9 | 13.3 | 0.0 |
| | 花秀芳(対照) | 赤紫 | 50 | 115 | 5.0 | 12.1 | 0.0 |

1) 名護市で試験を実施した。定植:9月18日、第1消灯11月21日、再電照:12日消灯・3日点灯

2) 名護市で試験を実施した。定植:12月1日、第1消灯2月1日、再電照:14日消灯・4日点灯

「首里の加那」の特徴

・花首が短く、わい化剤が不要

既存品種の多くは花首が長く、花姿改善のために発蕾後わい化剤を散布している。「首里の加那」は花首が短く、わい化剤の散布が不要で、10aあたり約5.8千円(労働費、薬品代等)の経費削減ができる。

・立枯れが少ない

赤輪ギク主力品種「花秀芳」と比較して、親株圃、本圃での立枯れが少ない。

・花色が濃く、花にボリューム感がある

「花秀芳」よりも花色が濃く、花弁数が多く、切り花にボリューム感がある。



「首里の加那」



「花秀芳」

栽培上の ポイント

- ・高温時に発根や萌芽が悪くなる場合があるため定植初期は遮光を行う。
- ・排水良好な圃場が適する。

※ 輪ギク品種「首里」シリーズはイノチオ精興園(株)との共同開発品種です。栽培には契約が必要となります。